

高次脳機能検査の実習を行いました

2021年12月1日

3年生が身体障害作業療法学実習2で高次脳機能検査の実習を行いました。脳に損傷のある方にみられる症状を評価するための検査です。検査者、被検者を体験し、どのように検査をしたらよいかを考えました。2枚の写真では、積み木を使って見本と同じ模様を作ることができるか、検査者がいくつかの四角形を指さす順番を記憶できるかといったことを調べています。検査によって症状の特徴を知ること、患者さんに合ったリハビリを考えていきます。

